

トヨタ プリウス、プリウスα専用フォグHiDシステム 取付・取扱説明書

アサヒライズ株式会社 エフイーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

ハロゲンバルブ装着車のみ対応

- プリウス(ZVW30):年式2009年5～2011年11月:グレード G、Sに対応(LEDフォグランプ装着、マイナーチェンジ後の車除く)
- プリウスα(ZVW41W):年式2011年5月～:グレード G、Sに対応(S"セレクション"はメーカーオプションハロゲンフォグ装着車のみ対応)

⚠️ ご注意

- この度は、TOYOTAプリウス専用フォグHiDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品は、お車のフォグランプをハロゲンバルブから、HiDバルブに交換する為の製品です。
正しく安全にご使用いただく為に、この取り付け、取扱い説明書をよくお読みになり、内容を理解の上でご使用ください。
- 本製品を車両へ装着の際は、純正フォグランプの脱着が必要です。
- 本製品は、TOYOTAプリウス(ZVW30)、プリウスα(ZVW40W、41W)専用です。当該車両以外では使用しないでください。
当該車両以外でご使用された場合、球切れモニター点灯など車両のシステムに誤作動などの症状が発生する場合があります。
- 本製品の使用、取り付けの際には、本取付・取扱説明書、及び車両メーカー作成の整備マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
- HiDシステムは陸運支局に確認の上、車検対応として製造されておりますが、通常のハロゲンバルブとは異なる発光色に見える為、稀に検査によっては不適合と判断される場合があります。
- 本製品は、通常のHiDシステムやハロゲンバルブより明るさが増加する為、光軸が合っていないかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがありますので、必ず光軸を正しく合わせてご使用ください。
- HiDシステムに交換する事によって、灯具(車両)によってはハロゲンバルブでは出なかった光が出る事もあります。
- 本製品の取付、交換は専門の技術と経験が必要です。安全の為、必ず整備工場や自動車電装品取扱いの専門店にて行ってください。

⚠️ 使用上のご注意

- 車両のパワースイッチがオフまたはACCの状態ではフォグランプを点灯させないでください。
バッテリー上がりやHiDシステムの不具合の原因となります。
- 車両、補機バッテリーの充電状態によりオートライトを併用しエンジン始動(レディー)した際、HiDが正常に点灯しない場合があります。
点灯しない場合でも、フォグランプを一度、OFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

製品仕様

【HiD バルブ】

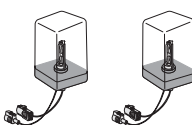
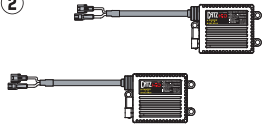
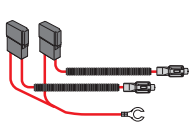
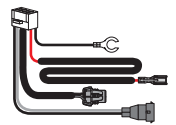
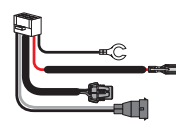
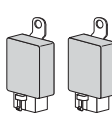
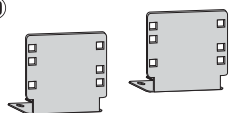
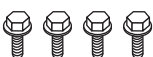
- タイプ : H11
- 消費電力 : 35w

【バラスト】

- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力電圧 : 85v 27w

構成部品

※ご使用前に部品が全て揃っているか、ご確認ください。

①		②		③		④		⑤	
HIDバルブ	2	バラスト	2	HID電源ハーネス	1	HIDフォグハーネスR	1	HIDフォグハーネスL	1
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
リレー	2	コルゲートチューブ (小)	3	ケーブルクリップ	3	インシュロック	4	バラストステー	2
⑪		⑫		⑬		⑭		⑮	
六角タッピングネジ(M5×16)	6	六角フランジボルト(M6×15)	4	M5平ワッシャー	6	M5スプリングワッシャー	6	M6フランジナット	2
⑯									
スクリューグロメット	6								

⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

⚠ 警 告

- ガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。
破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。
- 紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。
火災の原因となります。

⚠ 注 意

- ⚠ このH I D システムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。
イグナイタ、インバータは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があります。イグナイタ、インバータの取付位置や車両によっては、車両(コンピュータ、オーディオ等)に影響する場合があります。
- ⚠ ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。
点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディーが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。
※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、十分にさました後、作業をおこなってください。
- ⚠ 点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。
目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- ⚠ 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。
H I D バルブをイグナイタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするとイグナイタ側のH I D バルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残留(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。
- ⚠ ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。
このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

⚠ 取付作業に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁におこなわないでください。
点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。
注)ライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。
これは、インバータの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。
- 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。
この症状はインバータの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。
1) 点灯直後や再点灯時に(約10~20秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。
2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。
3) 点灯時、左右の照射色が異なる場合があります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。
- 改造、分解は絶対におこなわないでください。
この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグナイタ・H I D バルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。
また、改造や分解、不当な修理に起因し生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

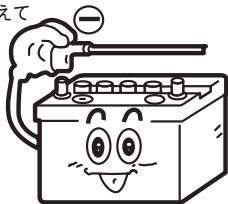
使用中におかしいな?と思ったら!!

- 1) 速やかに車両を安全な場所へ移動し、停止させてください。
- 2) ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再点灯をおこなってください。
上記作業を何度かおこなっても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。
※上記作業をおこなって正常にもどれば、インバータの安全回路が作動に起因し発生した症状なので、そのままご使用頂いて問題はありません。
もし症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄の駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを取外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》



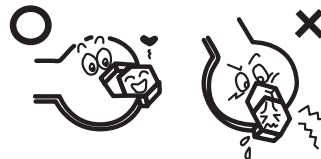
●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に行う。



●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行う。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。



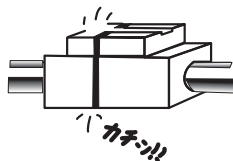
●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



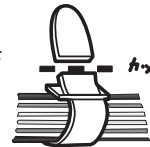
●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●ハーネス(配線)配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。



●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスを引っかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。



●車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。



⚠ 取扱（取付）に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

※下記の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。

◎取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。

※バルブパッケージは未開封の状態ではラスタを仮接続し、HIDバルブの点灯テスト要領をご参照の上点灯確認をおこなってください。
※バルブパッケージは開封後は、クレームとしてお受けできません。（但し、製品上のトラブルは除く）
※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。

◎HIDバルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを外取しておこなってください。

※HIDバルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを外取した状態で作業をおこなってください。

◎ラスタの取扱は慎重におこなってください。

※ラスタは精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引張ったりしないでください。

また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずフォグスイッチがオフになっていることとバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。

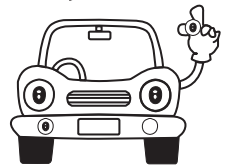
ラスタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

◎減光システム装置付き車両への装着または併用はできません。

※一般的な減光システムは、出力電圧が自動で調整（上げ下げ）することでライトの光量調整（減光）をおこなう装置です。

HIDシステムと併用した場合、減光システムが作動した際、HIDの作動に必要な最低起動電圧（9ボルト）を下回り、電圧不足が発生し点灯やシステムの破損の原因となります。

ハズシテネ!



HIDバルブの点灯テスト要領

☆HIDバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆

当商品は出荷前に振動/点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

《点灯テスト手順》

①HIDバルブを開封する前に左図をご参照の上、HIDバルブ、ラスタ、電源線をそれぞれ接続してください。

②接続終了後、車両側のヘッドライト電源コネクタへ接続してください。

③HIDバルブが点灯すればテストは終了となります。

⚠ ご注意

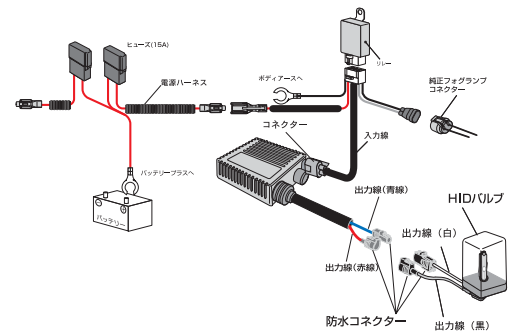
⚠ 点灯テストは、10秒以内で終了させてください。
指定時間以上点灯をおこなった場合、ヤケドやバルブケースの溶解などケガの原因となります。

⚠ 点灯テストで、点灯が確認できない場合は、直ちに取付け作業を中止してください。

⚠ システムの破損につながりますので、電源接続の際は、プラス(+), マイナス(-)を絶対に間違えないでください。

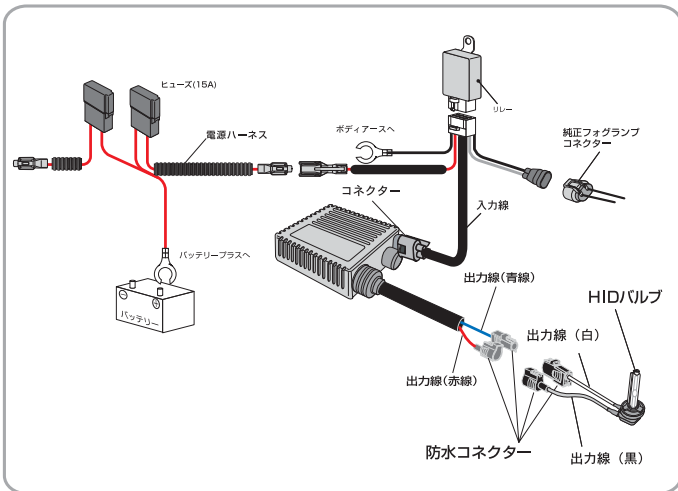
⚠ 破損や作動不良の原因となりますので、ラスタにバッテリーなどのプラス電源が触れないよう、ご注意ください。

※装着前の点灯テストを怠りバルブケースを開封した場合や装着作業中に発生した破損などはクレームの対象外となりますので十分ご注意ください。

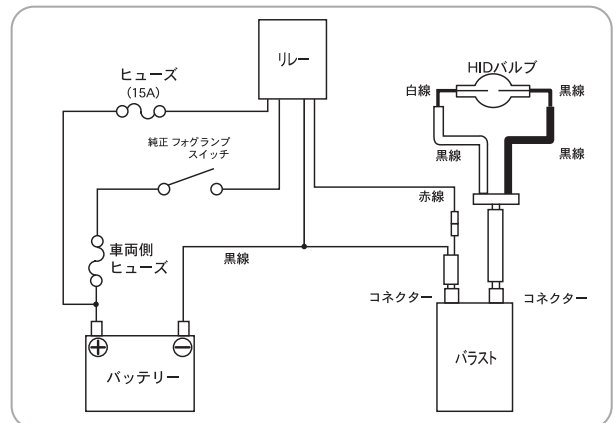


⚠ 取扱（システム）概要・接続構成図

取付概要・接続構成図



システム概要



◎取付け作業を開始する前に、システム全体の取付け概要を理解してください。

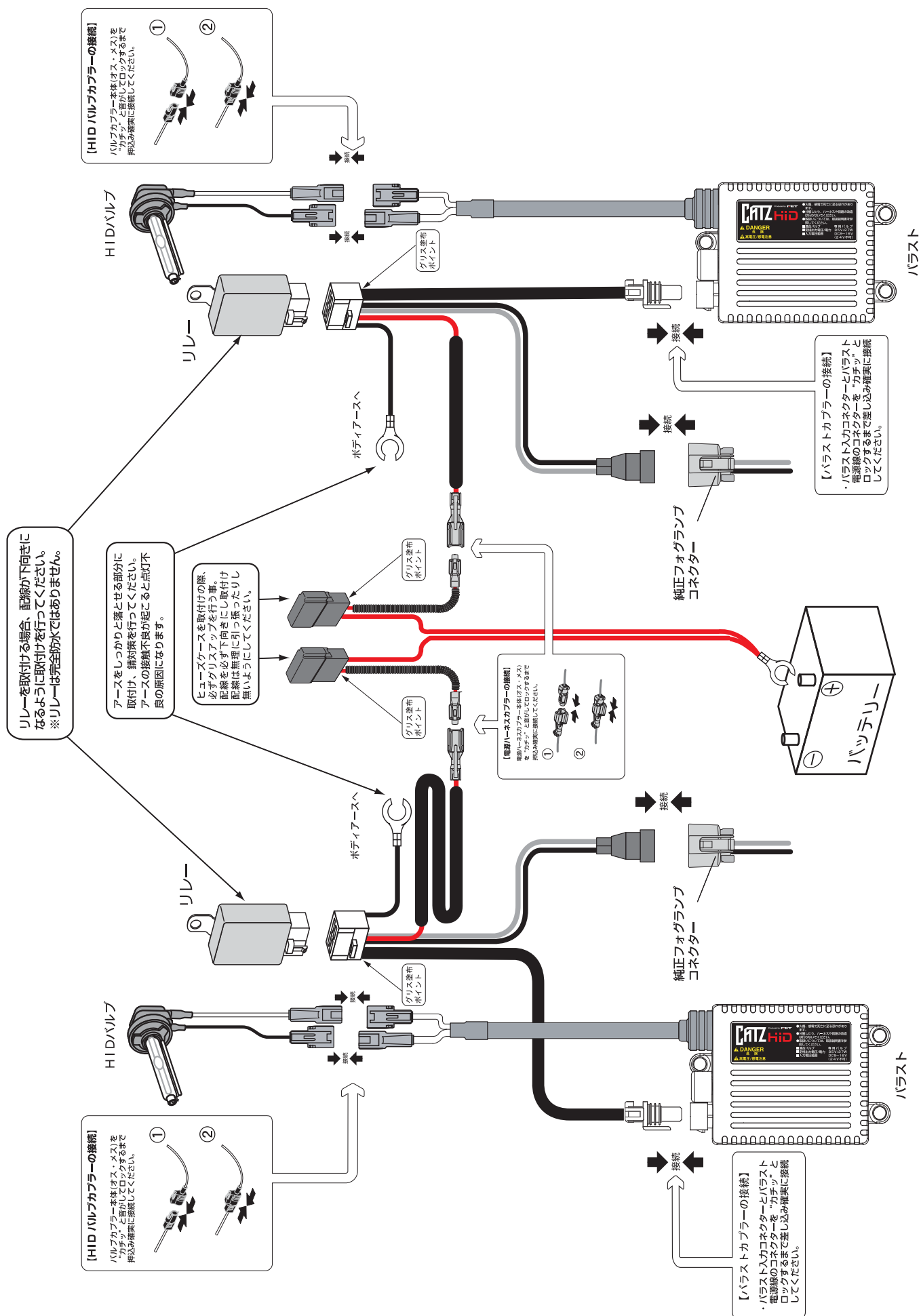
◎取付けの際には、取扱説明書及び車両メーカー制作の配線図に従って十分に注意して作業をおこなってください。

トラブルシューティング

注意：感電の恐れがありますので、点検は取付店でお受けください。お客様自身での点検は危険ですのでおやめください。

フォグランプスイッチはONになっていますか？	OFF	フォグランプスイッチをONにしてください。
ON		
本製品のヒューズは切れていませんか？	切れてる	新品の15Aヒューズと交換してください。
切れてない		
バッテリーの電圧は正常ですか？	低い	バッテリーの充電または、交換をしてください。
正常		
コネクターは確実に接続されていますか？ 注意：感電の恐れがありますので、必ずフォグランプスイッチがOFFの状態でご確認ください	接続NG	コネクターを確実に接続してください 注意：必ずフォグランプスイッチがOFFの状態で行ってください。
接続OK		
フォグランプコネクターの電圧は正常ですか？	異常	修理書のライティングシステムフォグランプ回路を参照し、車両側の点検をしてください。
正常		
片側のみ点灯しない場合は、本製品の各ユニット（HIDバルブ、ラスタ）をひとつずつ左右入れ替えて点灯確認してください。		
両側点灯しない		
症状変わらず、または症状が左右入れ替わった		
販売元に連絡の上、点検を受けてください。		

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図



【HID 取付手順】※プリウス(ZVW30)を参考に、フロントバンパーの取り外しを説明しております。プリウα(ZVW40W、41W)とは、異なる部分がありますので、取り外しの際は、車両メーカー作成の整備マニュアルに従い、注意して作業を行ってください。

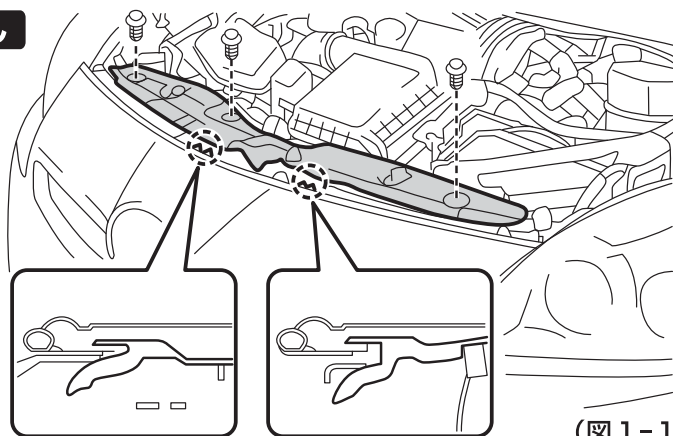
⚠ 作業を開始する前に

バッテリーのマイナス(−)端子を取り外し、車両に供給される電気を遮断して下さい。
バッテリーのマイナス(−)端子を取り外すとラジオや時計などのメモリーが消えてしまいます。
端子を取り外す前に記録を残してください。また、作業終了後には、必ず元の状態に復元して下さい。

取付手順 1 フロントバンパーの取り外し

1-1 ラジエータサポートオープニングカバー取り外し

1. クリップ3個を取り外してください。
2. ツメのかん合部2箇所をはずし、ラジエータサポートオープニングカバーを取り外してください。(図1-1)



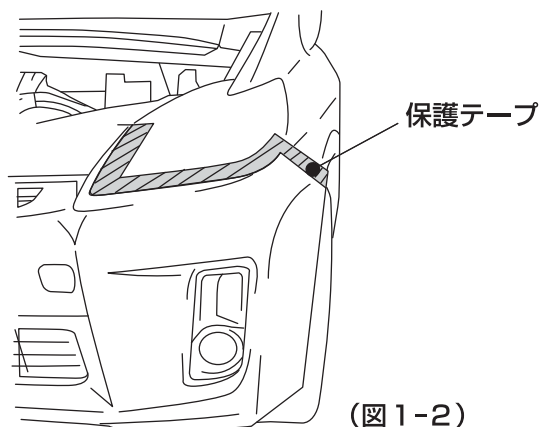
(図1-1)

1-2 パーツの保護

1. フロントバンパー周辺にキズ防止の為、保護テープを張付けてください。(図1-2)

アドバイス

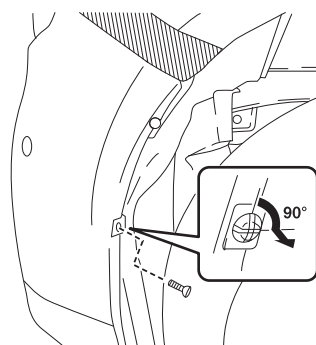
・右側も同様に、保護テープを貼り付けてください。



(図1-2)

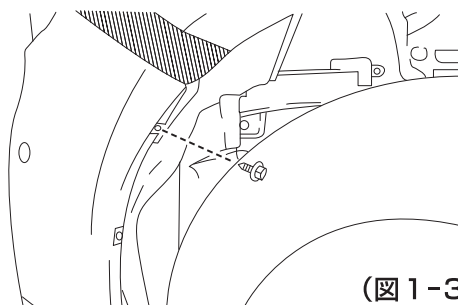
1-3 フェンダー内部の取り外し

1. マイナスドライバーを使用して、ピンホールドクリップを90° 回し、ピンホールドクリップを取外して下さい。(図1-3-1)



(図1-3-1)

2. スクリューをを取り外して下さい。
(図1-3-2)



(図1-3-2)

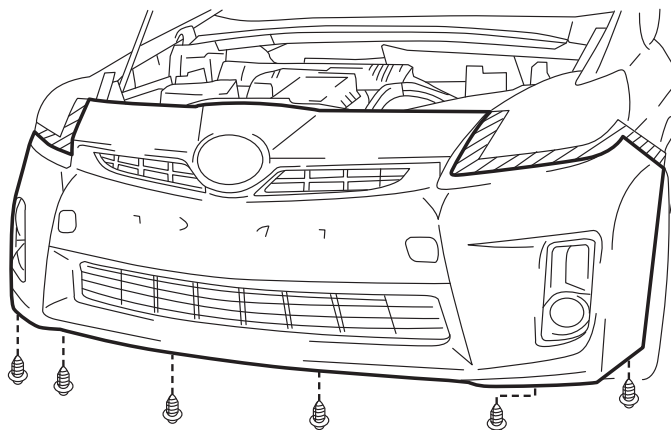
アドバイス

・右側も同じ要領で取り外してください。

取付手順 1 フロントバンパーの取り外し

1-4 バンパー下側の取り外し

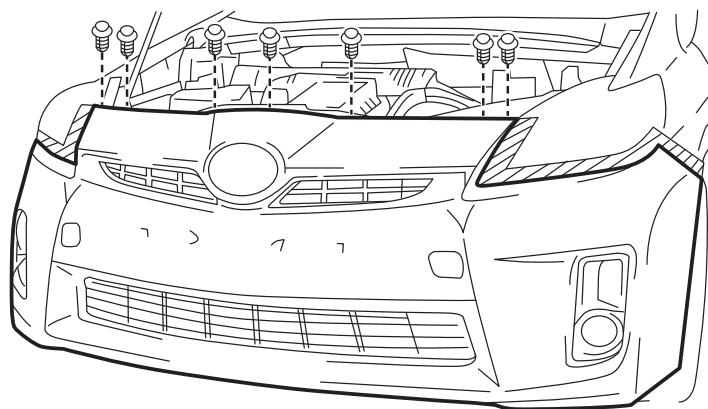
1. クリップリムーバーを使用して、クリップ2個を取外してください。
 2. スクリュー4本を取り外してください。
(図1-4)
- (プリウスα:スクリュー6本を取り外してください。)



(図1-4)

1-5 バンパー上側の取り外し

1. クリップリムーバーを使用して、クリップ5個を取外してください。
 2. ボルト2本を取り外してください。
(図1-5)
- (プリウスα:クリップ3個、スクリュー4本を取り外してください。)



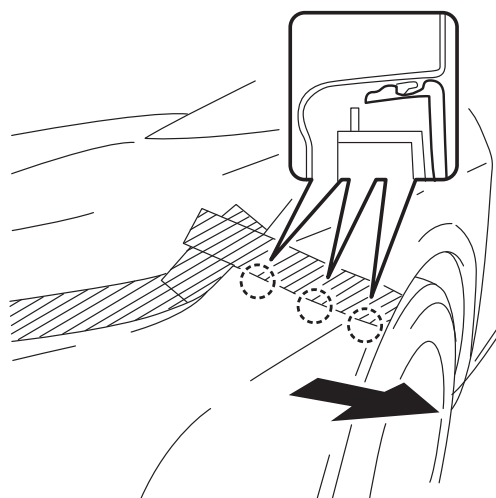
(図1-5)

1-6 フロントバンパーの取り外し

1. フロントバンパーASSYを外側に引きツメのかん合3箇所を取外してください。(図1-6-1)

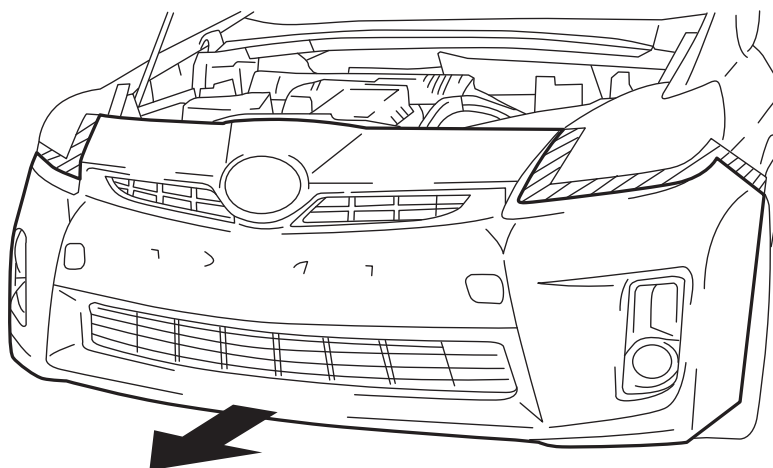
アドバイス

・右側も同じ要領で取り外してください。



(図1-6-1)

2. 図の矢印方向に引き、フロントバンパーASSYを切り離してください。(図1-6-2)
3. 各コネクタを切り離しフロントバンパーASSYを取外してください。



(図1-6-2)

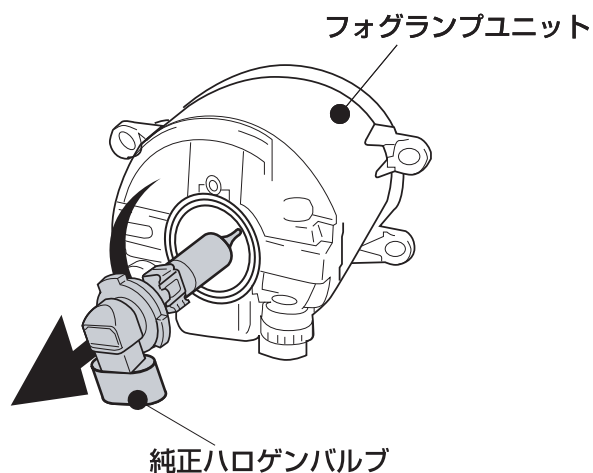
取付手順 2 HIDバルブの取付け

下記の手順を参照の上フォグランプユニットの、純正バルブをHIDバルブに交換します。

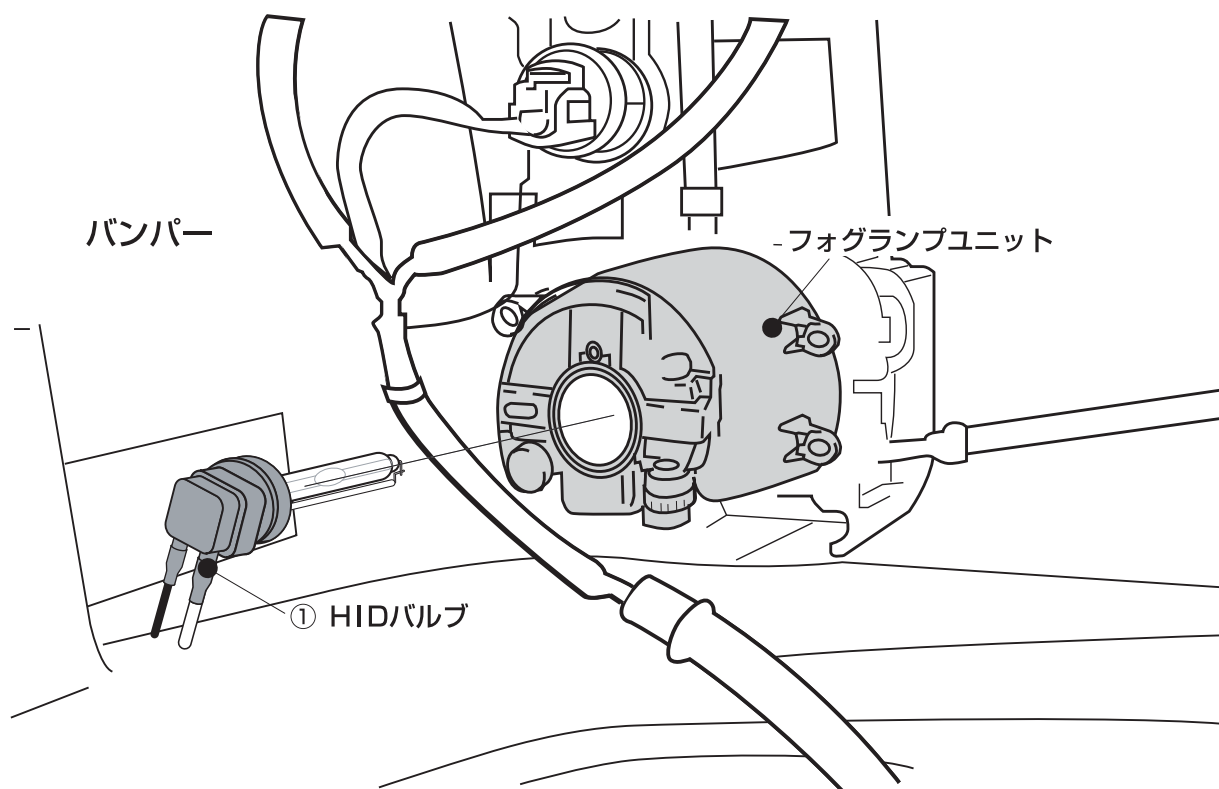
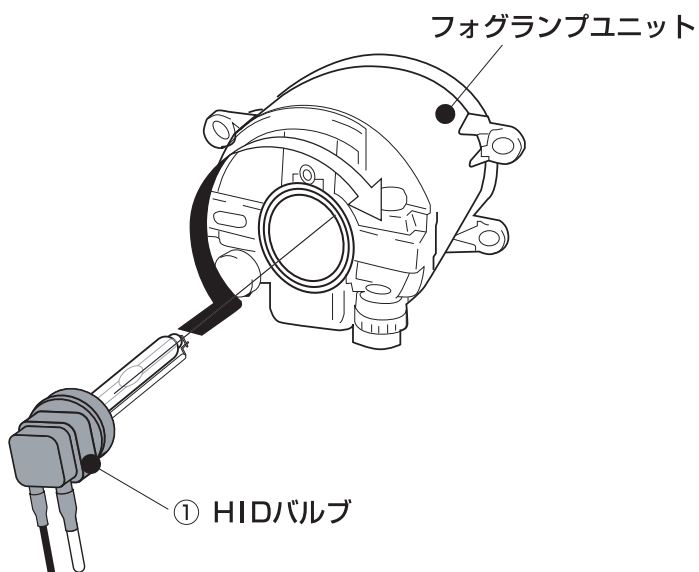
※図は車両左側の装着手順です。右側フォグランプユニットも同様に、純正バルブからHIDバルブへの交換を行ってください。

1. フォグランプユニットより、純正ハロゲンバルブを取外して下さい。(図2-1)
2. 付属の①HIDバルブをハロゲンバルブ脱着と逆の手順で取付けてください。(図2-2)

(図2-1)

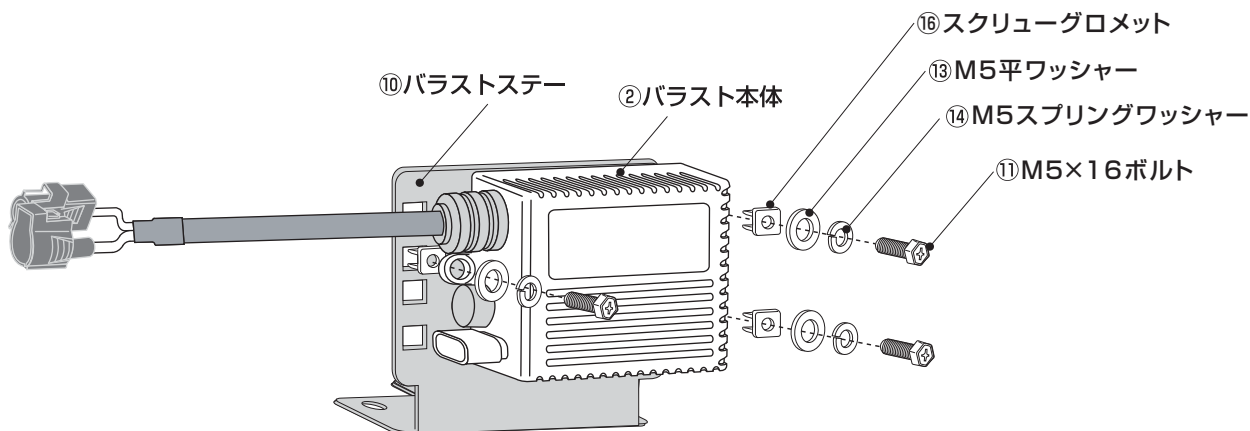


(図2-2)



3-1 運転席側バラストの取付け

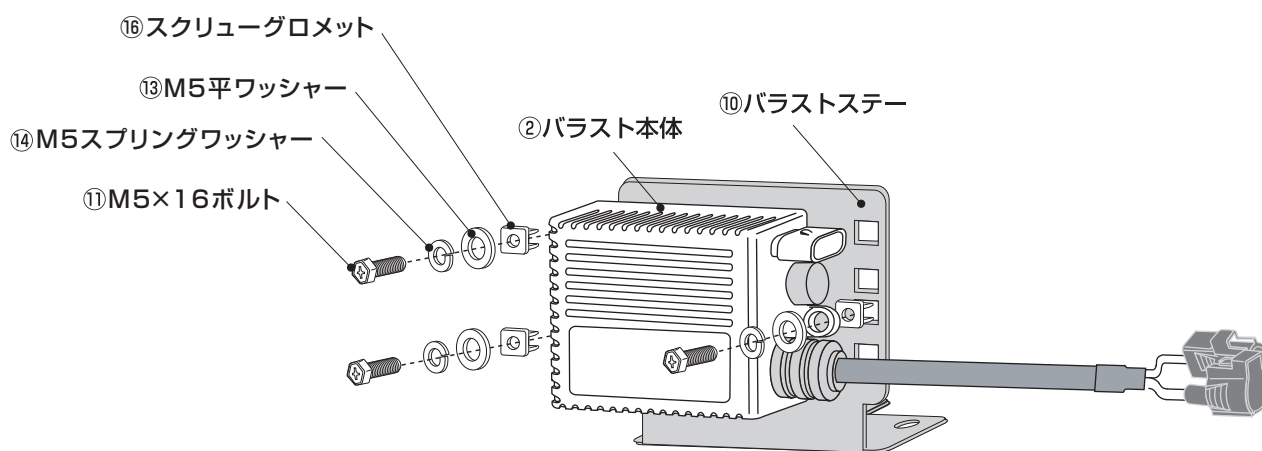
- 図3-1をご参照の上、⑬スクリューグロメットを取付けてください。
⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。



(図3-1)

3-2 助手席側バラストの取付け

- 図3-2をご参照の上、⑬スクリューグロメットを取付けてください。
⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。



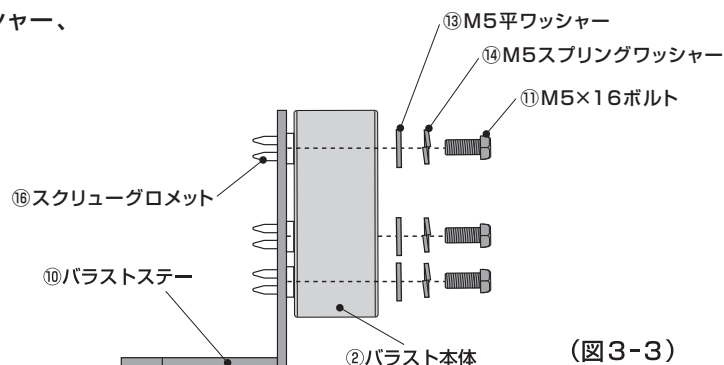
(図3-2)

バラストとバラストステーの組み立て詳細

- ⑬スクリューグロメットをバラストステーに取付けます。
- バラストの取付け穴、取付け方向を確認し⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。

ご注意

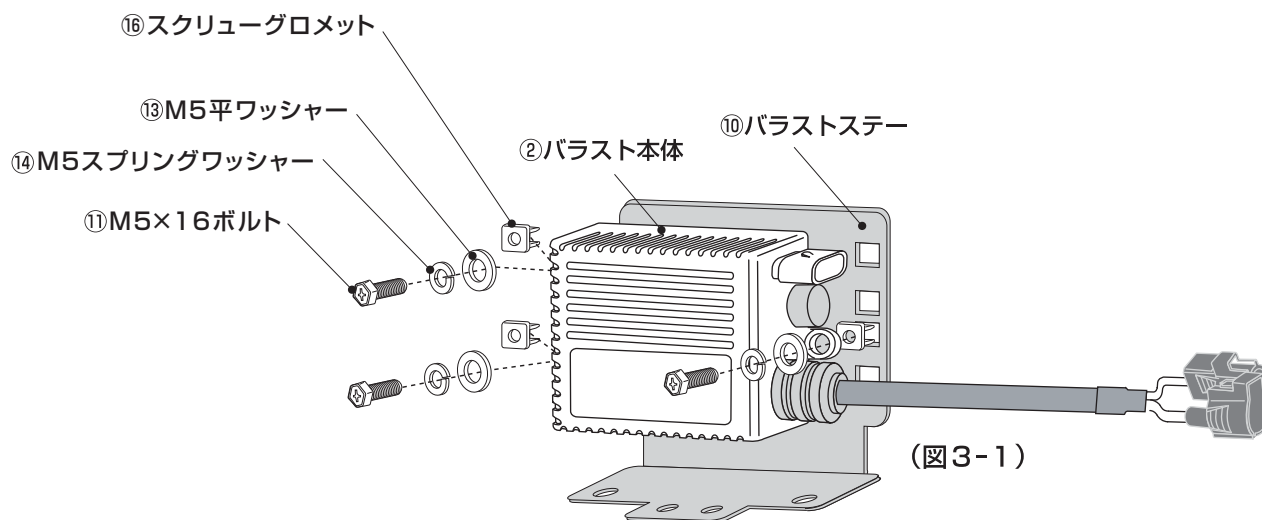
②バラスト本体は左右で取付ける方向が異なります。
図3-2及び図3-3のイラストをご参照の上、取付け作業を行ってください。



(図3-3)

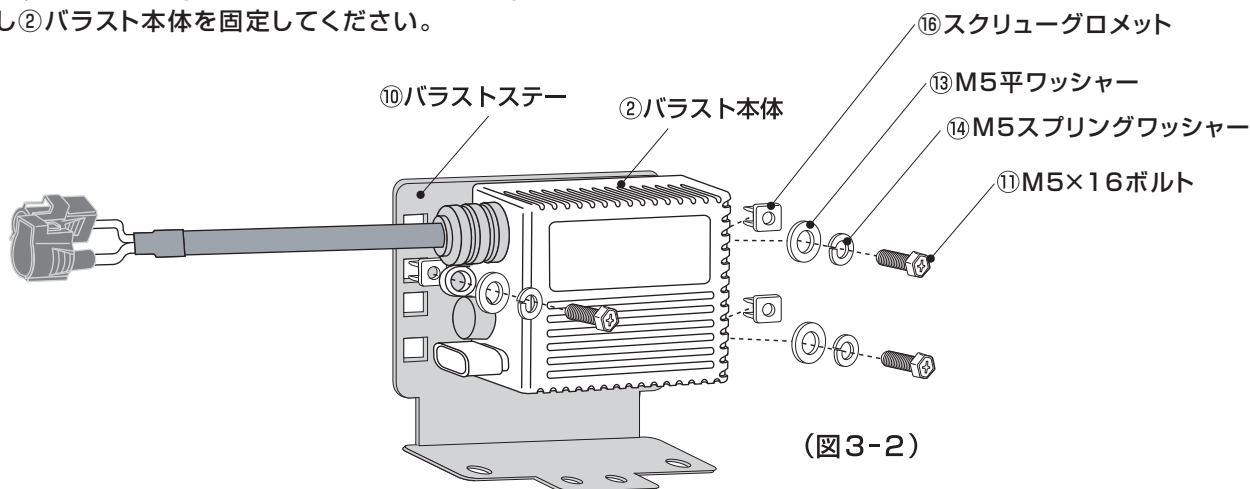
3-1 運転席側バラストの取付け

- 図3-1をご参照の上、⑯スクリューグロメットを取付けてください。
⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。



3-2 助手席側バラストの取付け

- 図3-2をご参照の上、⑯スクリューグロメットを取付けてください。
⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。

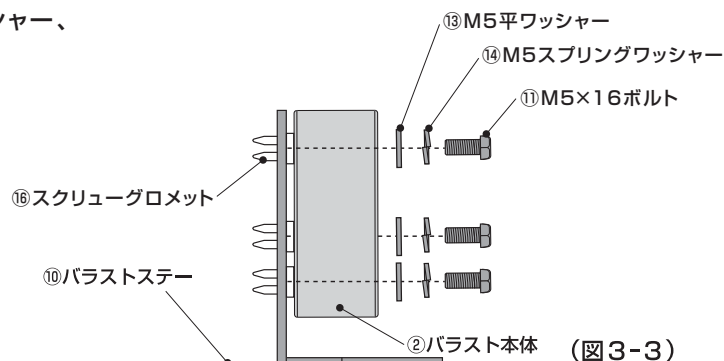


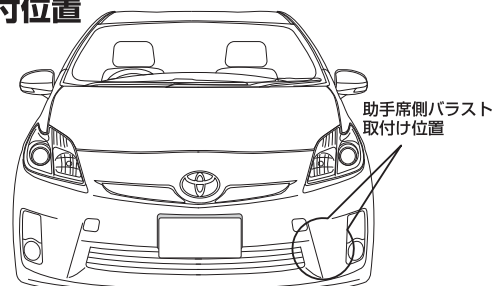
バラストとバラストステーの組み立て詳細

- ⑯スクリューグロメットをバラストステーに取付けます。
- バラストの取付け穴、取付け方向を確認し⑬M5平ワッシャー、⑭M5スプリングワッシャー、⑪M5×16ボルトを使用し②バラスト本体を固定してください。

ご注意

②バラスト本体は左右で取付ける方向が異なります。
図3-2及び図3-3のイラストをご参照の上、取付け作業を行ってください。

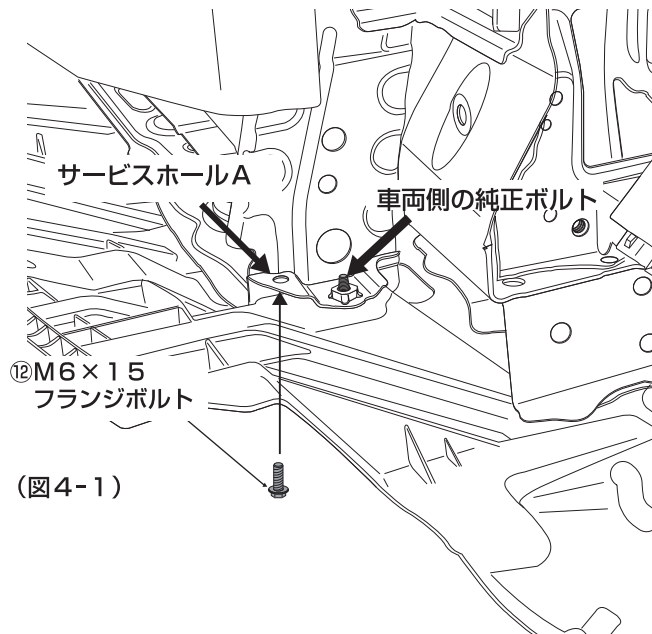




4-1 助手席側バラストの取付け

1. 車両側の純正ボルトを緩めてから、車両側サービスホールAへ下から本製品付属品の⑫M6×15ボルトをセットしてください。

(図4-1 参照)



(図4-1)

2. バラストステー取付け穴詳細(助手席側)をご参照の上、本製品付属の⑫M6×15ボルトとバラストステーを固定してください。(1.で緩めた車両側の純正ボルトの締め忘れが無いように作業を行なってください。)

(図4-2a、b参照)

図4-2a プリウス(ZVW30)に装着する場合

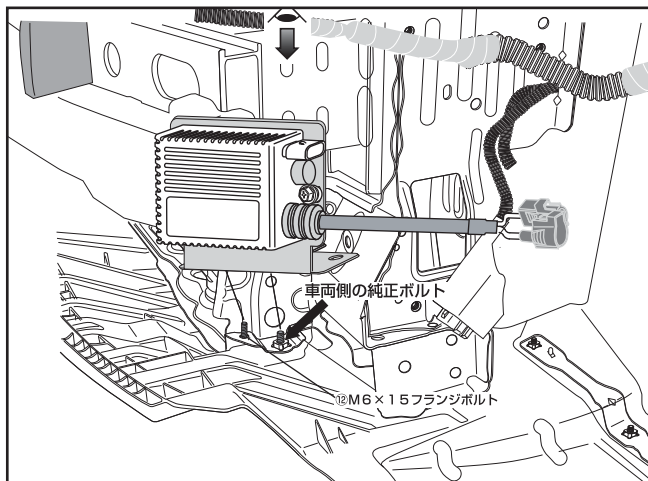
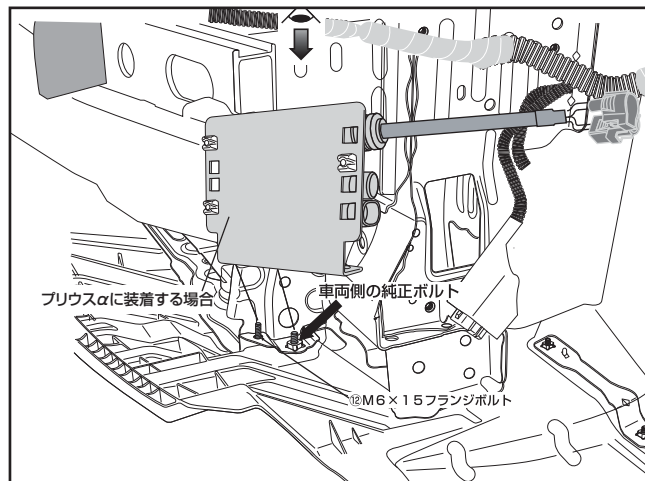
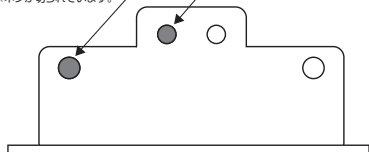


図4-2b プリウスα(ZVW40W、41W)に装着する場合



バラストステー取付け穴詳細(助手席側)

- ⑫M6×15 フランジボルトを通す
※ネジが切られています。
- 車両側純正ボルトをこの穴に通す



※上記イラストは ↓ より見た状態にて表現しております。

4-2 HIDフォグハーネスLの取付け

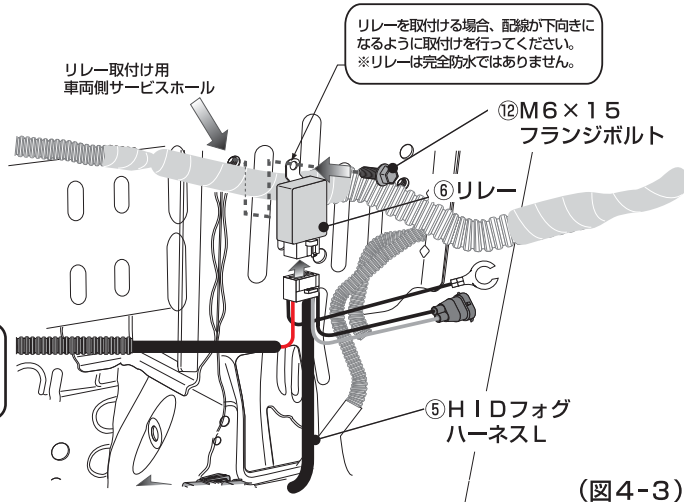
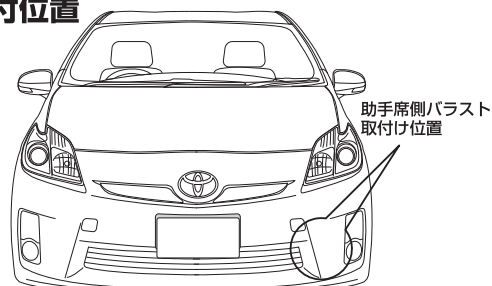
1. 図4-3を参照の上、車両側のサービスホールを使用し⑥リレーを⑫M6×15ボルトを使用し固定してください。
2. 1で取り付けた⑥リレーへ本製品付属の⑤HIDフォグハーネスLを取付けてください。
3. 断線予防のために⑤HIDフォグハーネスLの③HID電源ハーネスへ接続する被服チューブ付きの配線に⑦コルゲートチューブ(小)を取付けてください。(図4-4参照)
※コルゲートチューブ取付け詳細(助手席側)を参照
4. ⑤HIDフォグハーネスLのアース線を車両側のアースポイントの裏側の突起部分を使用し、⑮M6フランジナットで取付けてください。(図4-5参照)

⚠ 取付け上のご注意

車両の制御装置(コンピュータなど)の故障の原因となりますので車両側のアースは絶対に取外さないでください。

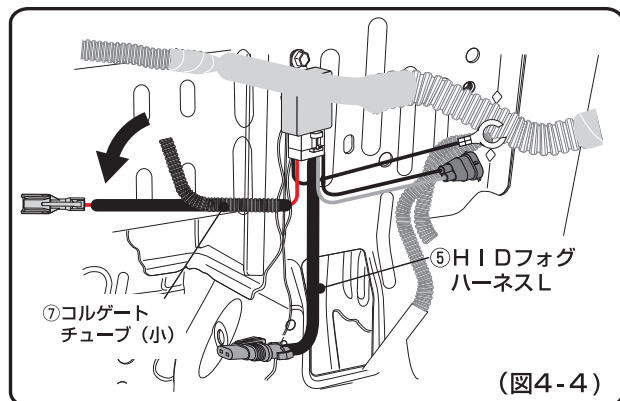
5. HIDフォグハーネスLのバラスト電源コネクターをバラストへ"カチッ"と音がするまで差し込んでください。(図4-6参照)

取付位置



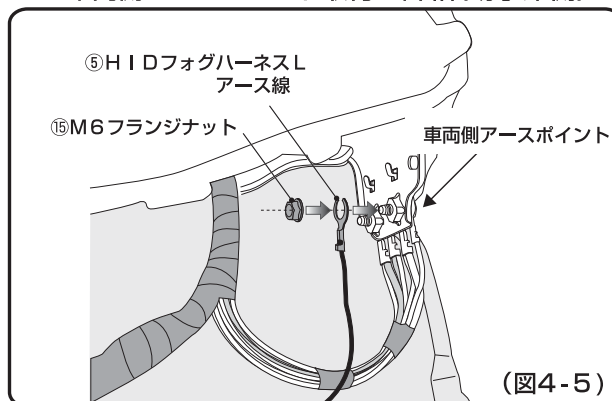
(図4-3)

コルゲートチューブ取付け詳細(助手席側)

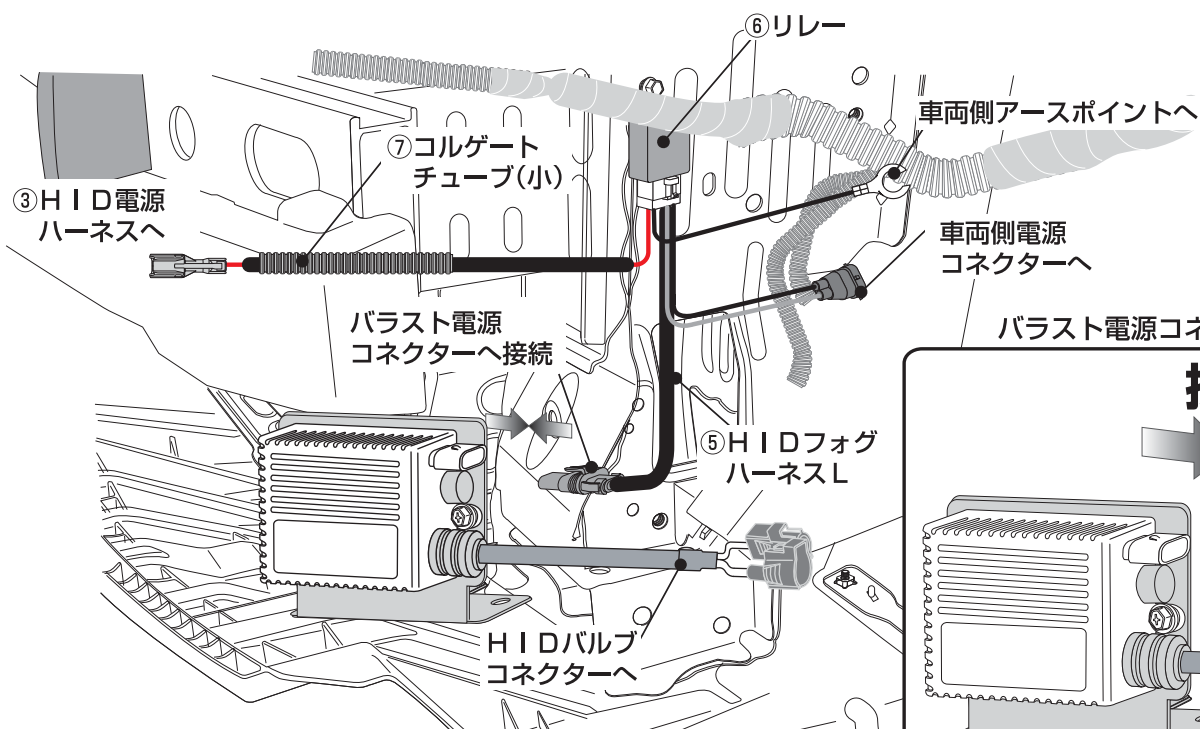


(図4-4)

車両側アースポイント取付け詳細(助手席側)

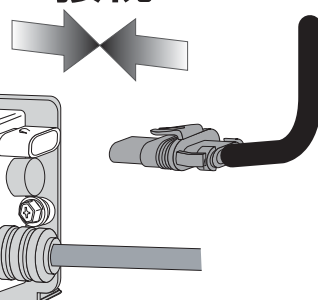


(図4-5)



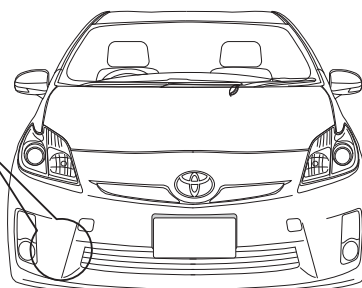
バラスト電源コネクターの接続

接続



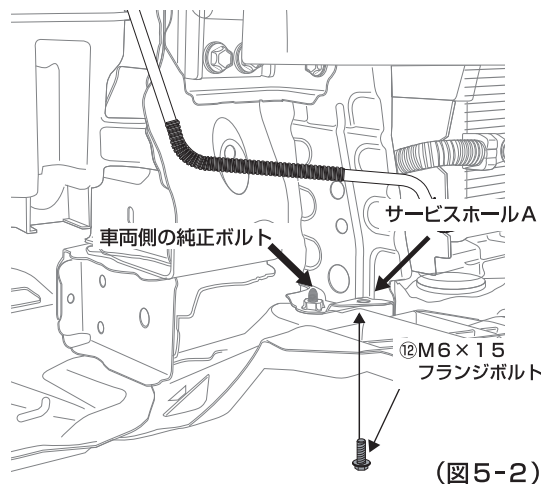
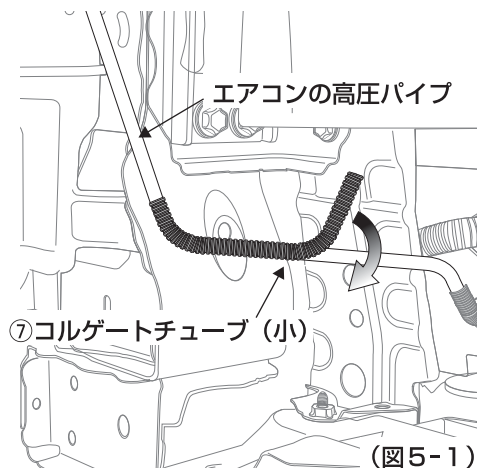
(図4-6)

運転席側バラスト
取付け位置



5-1 運転席側バラストの取付け

1. バラストステー装着時の後方にあるエアコンの高圧パイプへ付属の⑦コルゲートチューブを取付けてください。(図5-1参照)
2. 車両側の純正ボルトを緩めてから、車両側サービスホールAへ下から本製品付属品の⑫M6×15ボルトをセットしてください。(図5-2参照)



3. バラストステー取付け穴詳細(助手席側)をご参照の上、本製品付属の⑫M6×15フランジボルトとバラストステーを固定してください。(2.で緩めた車両側の純正ボルトの締め忘れが無いように作業を行ってください。)
(図5-3a,b 参照)

図5-3a プリウス(ZVW30)に装着する場合

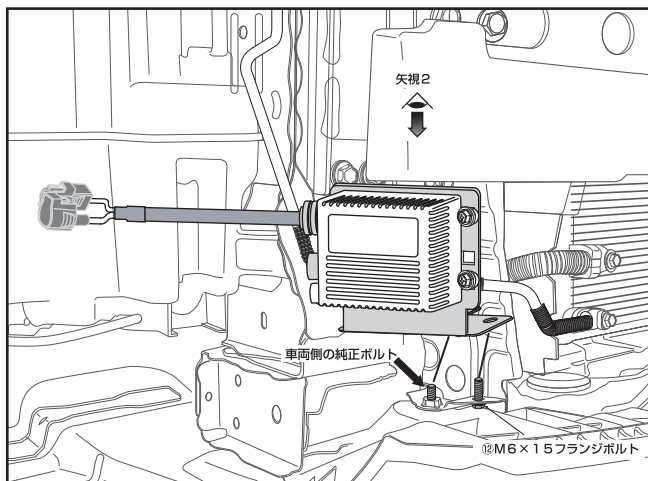
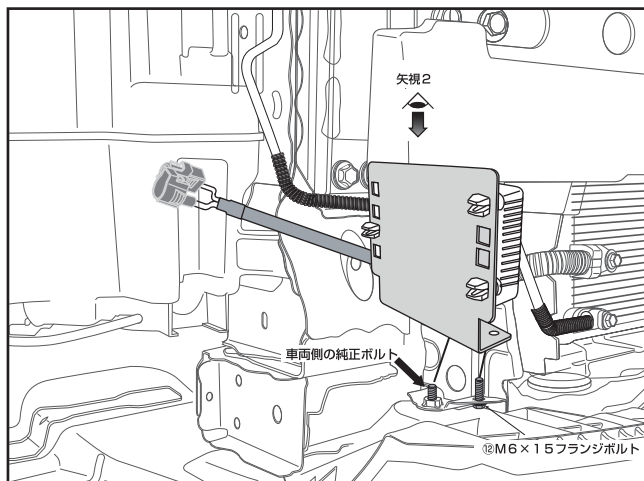
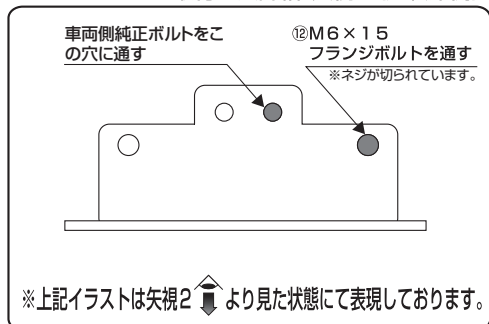


図5-3b プリウスα(ZVW40W、41W)に装着する場合



バラストステー取付け穴詳細 矢視2(運転席側)



5-2 HIDフォグハーネスRの取付け

1. 図5-4を参照の上、車両側のサービスホールを使用し⑥リレーを⑫M6×15ボルトを使用し固定してください。
2. 1で取り付けた⑥リレーへ本製品付属の④HIDフォグハーネスRを取付けてください。
3. 断線予防のために④HIDフォグハーネスRの③HID電源ハーネスへ接続する被服チューブ付きの配線に⑦コルゲートチューブ(小)を2箇所に取り付けてください。(図5-5、P13図6参照)
※コルゲートチューブ取付け詳細(運転席側)を参照
4. ④HIDフォグハーネスRのアース線を車両側のアースポイントの裏側の突起部分を使用し、⑮M6フランジナットで取付けてください。(図5-6参照)

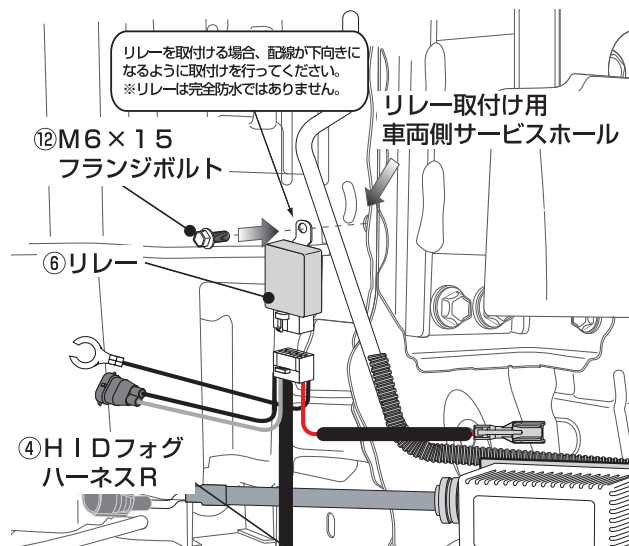
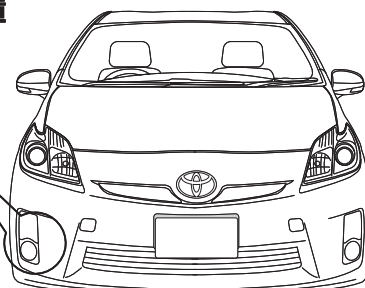
⚠ 取付け上のご注意

車両の制御装置(コンピュータなど)の故障の原因となりますので車両側のアースは絶対に取外さないでください。

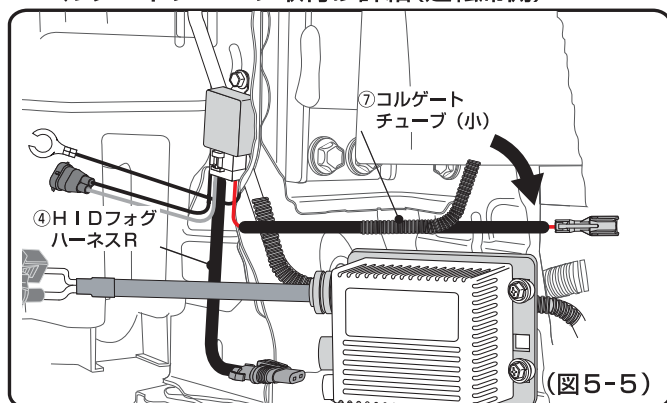
5. ④HIDフォグハーネスRのバラスト電源コネクタをバラストへ”カチッ”と音がするまで差し込んでください。(図5-7参照)

取付位置

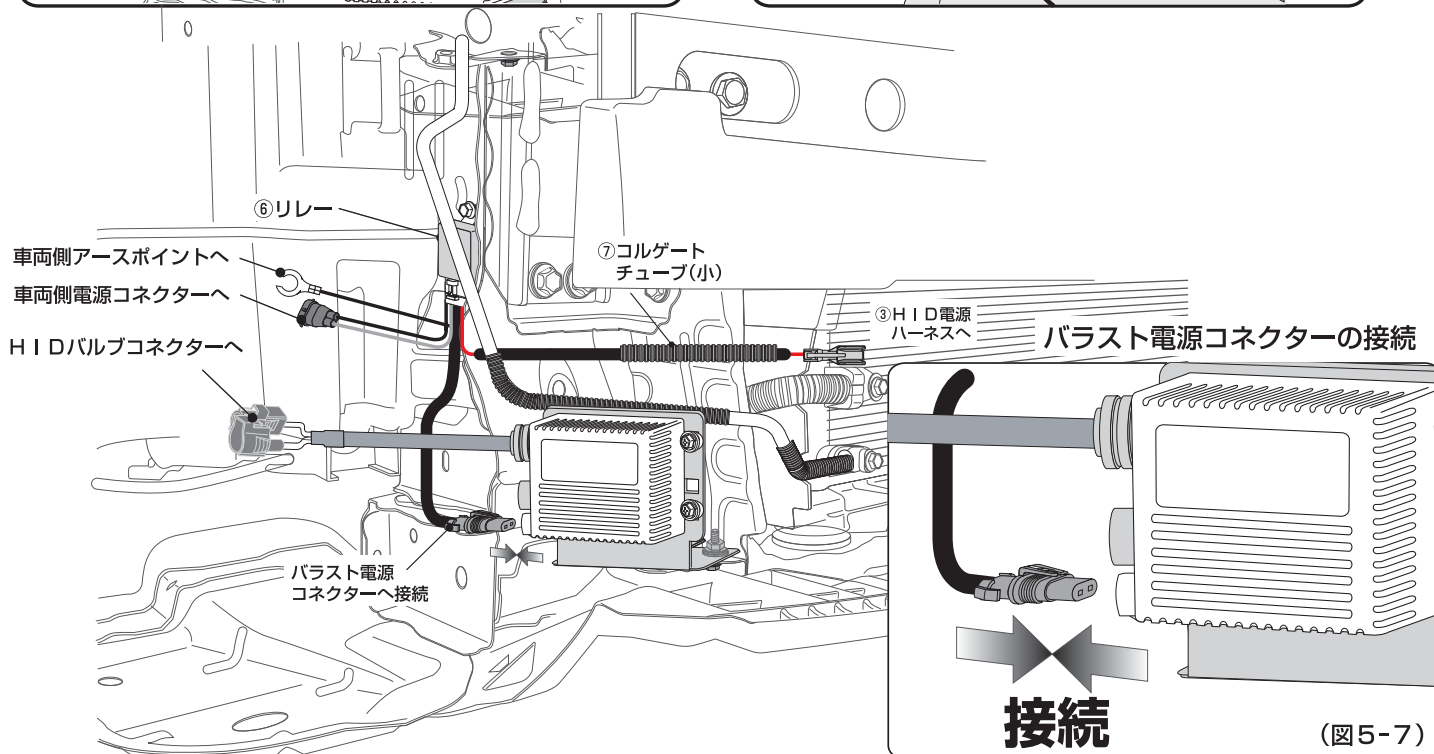
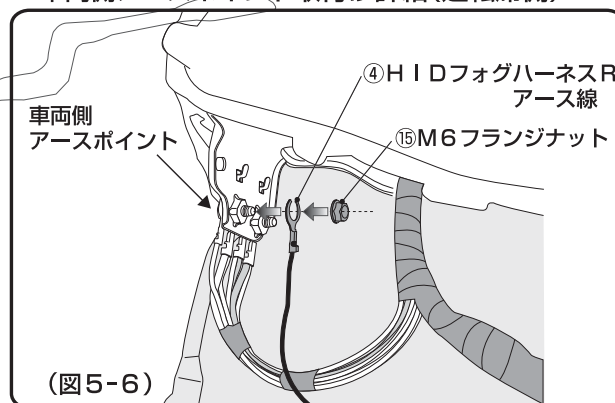
運転席側バラスト
取付け位置



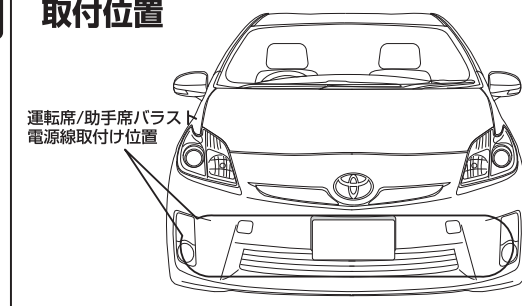
コルゲートチューブ取付け詳細(運転席側)



車両側アースポイント取付け詳細(運転席側)



運転席/助手席バラスト
電源線取付け位置



6-1 運転席側、助手席側のバラスト電源配線取付け

1. 取付手順5で装着した④H I D FogハーネスRをバンパーレインフォースメントの下側を這わせ、付属の⑧ケーブルクリップでバンパーレインフォースメントへ固定してください。

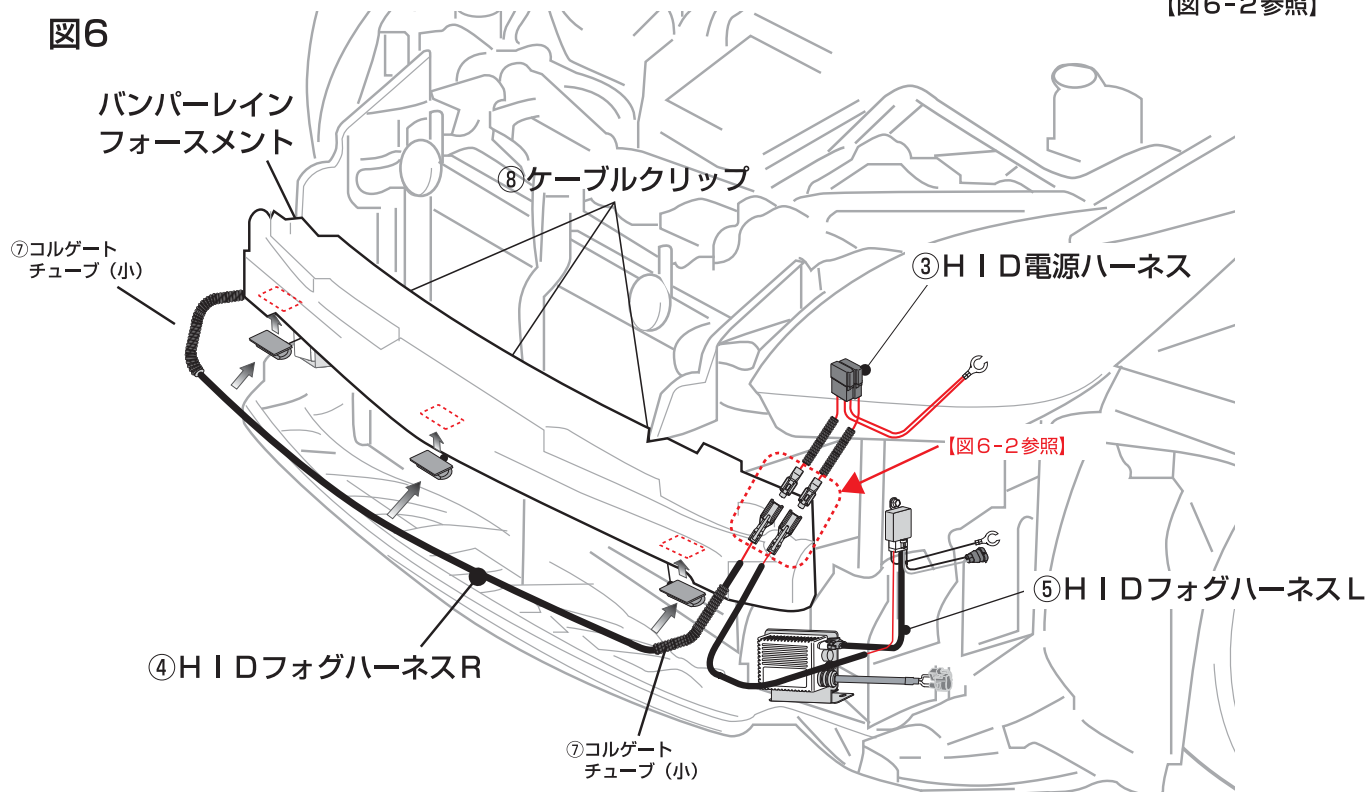
ご注意

【図6-1】を参照の上⑧ケーブルクリップはバンパーレインフォースメントの両端と中央へ取付けてください。

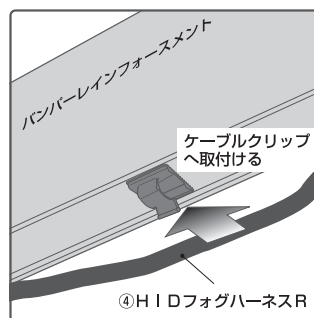
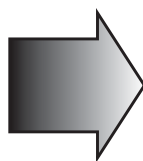
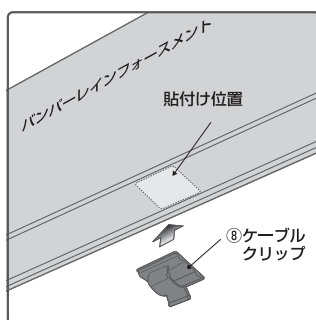
2. ④H I D FogハーネスR、⑤H I D FogハーネスLの③H I D電源ハーネスのコネクターを接続してください。

【図6-2参照】

図6



ケーブルクリップ取付け詳細



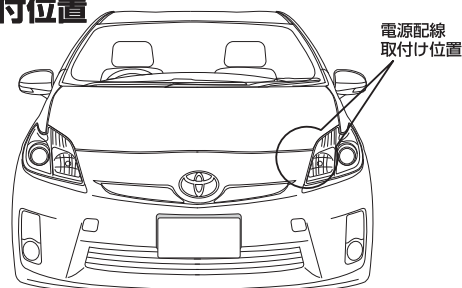
【図6-1】

H I D FogハーネスとH I D電源ハーネスハーネスコネクターの接続詳細

カプラー本体（オス・メス）を” カチッ” とロックするまで押込み
確実に接続してください。

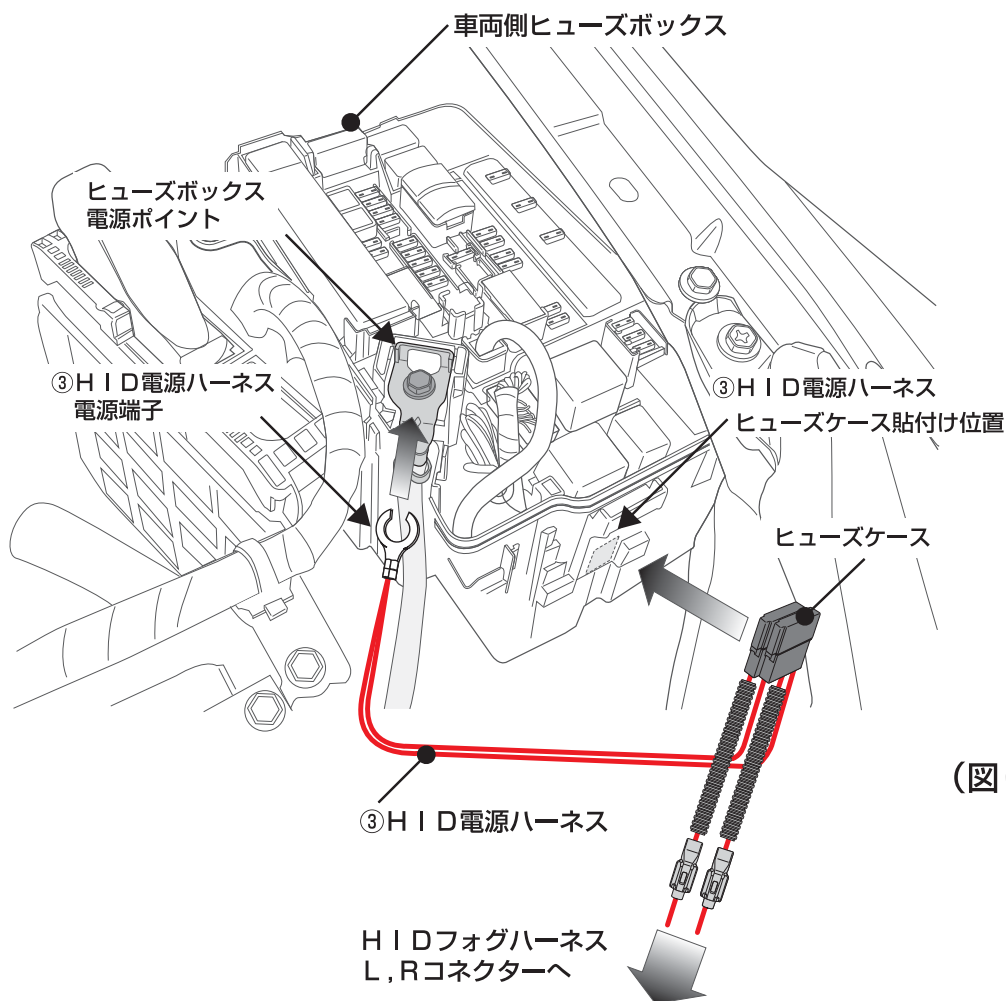


【図6-2】



6-2 バラスト電源配線取付け

1. 6-1で接続した③H I D電源ハーネスを左側ヘッドライトの下側からエンジンルームへ他のパーツへ干渉しない様に取廻してください。
2. ③H I D電源ハーネスのヒューズケースの両面テープをはがし図6-3を参照の上、車両側ヒューズボックスへ貼付けてください。
3. 図6-3を参照の上、車両エンジンルーム側ヒューズボックスの電源ポイント固定ボルトを緩め③H I D電源ハーネスの電源端子を取付けてください。

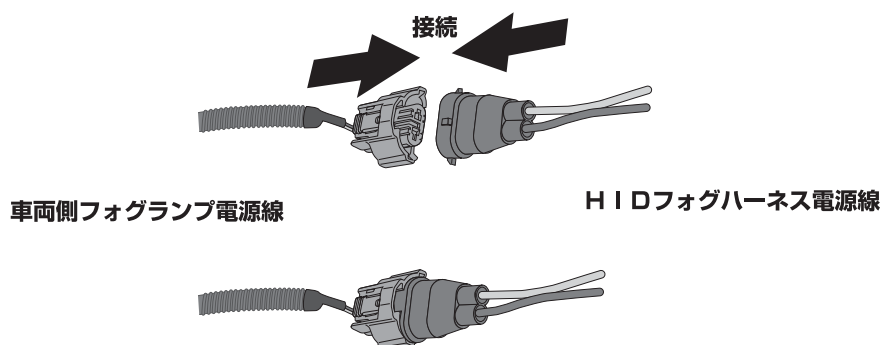


(図6-3)

6-3 配線・コネクターの接続

1. 本取付・取扱説明書4ページの取付概要・接続構成図をご参照の上、各接続コネクターの接続を行ってください。

例：車両側フォグランプ電源線とH I Dフォグハーネスの接続



取付手順 7 点灯確認・取付

7-1 点灯確認・取付

取り付け作業が終わったら、正常に作動するか点灯確認を行い、必ず光軸調整を行ってください。
問題がなければ取り外したすべての部品を元の状態に戻してください。

7-2 車両の復元

1. 取付手順 1 フロントバンパーの取外しと逆の手順にて、車両を元の状態へ復元してください。
2. 修理書を参照し、車両の各システムの初期化等を行ってください。

※これで全ての取り付け作業は終了となります。

取付手順 8 フォグランプ光軸点検・調整

修理書の「フォグランプ調整」をご参照の上、光軸点検・調整を必ず行ってください。